

2021年

## 7月のカレンダー

学びの広場

みんなのちからで30余年  
 (今年の9月に35年目を迎えます)

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
				スタッフ 10~1時 ミーティング	金曜日 10時~12時 アート	
4	5	6	7	8	9	10
				スタッフ ミーティング		青年の会10~1時
11	12	13	14	15	16	17
				スタッフ ミーティング	金曜日10時~12時 織りもの	
18	19	20	21	22	23	24
						青年の会10~1時
25	26	27	28	29	30	31
				スタッフ ミーティング		

## 7月の活動についてのお知らせ

今月の活動予定は表記の通りです。

- ・金曜日  
7/2 16 の内、人数を分けて2回  
ずつ参加して頂きます。
- ・青年の会  
7/10 24の内、人数を分けて1回  
ずつ参加して頂きます。



「あじさいをガラス絵皿に描こう」



Iさん



貫井神社で



★学びの広場に入室する時には、マスクの着用、手指の消毒をお願いします。また、ご家庭での検温など健康管理にご協力ください。

## 学びの広場

TEL&FAX 042-322-7160

H P <http://manabinohiroba.com/>

E-mail [hiroba@pop17.odn.ne.jp](mailto:hiroba@pop17.odn.ne.jp)





Mさん



Dさん



花みどり文化センターにて

## 南郷荘の生活



トタン屋根の下、粒だった雨音に囲まれ目を覚ます。闇の中から甲高く鋭く「ピーッ」と威嚇するのはカモシカ。サルグループは早朝から日暮れまで電線の上を行き来する。

庭に一番高くそびえるのはサワラの木、きっと30mは超えている。その下に100年物のカエデ、その下でちぢこまっているのがヒノキ。人間様はさらにその下。5月ともなればカエデが透き通るような葉をふくらませてそれらが3重に空をおおいつくす。風を感じながらウッドデッキに寝転べば、何もかも忘れてしまう。

タケノコは連休を過ぎると落葉が始まるし、秋はカエデの落葉。年じゅう竹ぼうきが手放せない。クマバチ、ヒグラシ、カジカガエル、モリアオガエル、ヒキガエル、ヤマカガシ、アオダイショウ、シマヘビ、マムシ、ミソサザイ、エナガ、カワガラス。堆積層が縦に露出した岩盤の上にあるワサビの上をトンビが谷を行き来する。これだけ狭い谷なのに空いている空間や使っていない土地がない、すべて「誰か」が利用している。

最近思うことがある。特に気になるのは、頻発する豪雨とその度に最高水位が更新されること。それにきれいごとばかりでは片づけられない。生活するにはまず車がなくてはいけない(バスはガラガラなのに!)。ヒーター、乾燥機付き洗濯機、インターネット、家電、IoT機器、それを動かす電気、水道、ガソリン、灯油。少なからず自然破壊の元凶だ(考えすぎだ、気のせいだという人もいるが、常に反省しよう)。

急激な地球環境の変化でもたらされる様々な現象や、地質学でいう人新世※となろう地球史に永遠に刻み込まれる人類の繁栄に因る残滓の痕跡などの話を聞くにつれ、普段は頭の片隅にもなかった日常の生活を深く考えずにはいられない。「日本という場所」ひとつとっても、ここの人たちはどこにどんな風に着地しようとしていいのか見えない。人々の身体性において獲得すべき「common sense」を取り戻すにはどうすればよいのか? 後世を考える前に、自分が死ぬまでを最低でも考える。打ち鳴らされる警鐘をどこまで自分と周りの自然や人のこととして思えるか、大事だと思う。



南郷荘管理人、太田佳宏

清水注:人新世※(じんしんせい/ひとしんせい)

ウィキペディアから抜粋・要約

人類が地球の地質や生態系に与えた影響を考えて提案された想定上の地質時代。地球温暖化などの気候変動、大量絶滅による生物多様性の喪失、人工物質の増大、化石燃料の燃焼や核実験による堆積物の変化などを人間の活動を主な原因とする考え方です。

